

「飛沫感染対策セパレータ」を発売

—ハイエースに設定。お客様と運転手が安心して移動できる環境をサポート—

TOYOTAは、送迎車としてニーズの高いハイエース*¹を対象とした「飛沫感染対策セパレータ」を、全国のトヨタ車両販売店、レンタリース店を通じて、3月1日（月）より、販売店装着の純正用品として発売*²しました。ハイエースのワゴン、コミューターとともにメーカー完成特装車（ウェルキャブならびにTECS）において、フロントシートとリヤシート間に装着。病院や福祉施設、観光での送迎など乗客や運転手の飛沫感染リスクを低減し*³、安心して乗車いただくことを狙いとしたものです。



グランドキャビン（ハイルーフ仕様）
装着イメージ



車いす仕様車Bタイプ
装着イメージ

トヨタ自動車は、コロナ禍の中、「もっといいクルマづくり」を支える製造現場のモノづくりの力やTPS（トヨタ生産方式）を活かし、マスクやフェイスシールドの生産、医療用防護ガウンの生産性向上支援、足踏み式消毒スタンド「しょうどく大使」の市販化などを推進。また、飛沫循環抑制車両の提供にも取り組んできました。

販売する「飛沫感染対策セパレータ」は、飛沫循環抑制車両提供の活動を知った多くのお客様より、トヨタ車両販売店を通じて、送迎で使用するハイエースにも装着可能なセパレータがすぐ欲しい、との声をいただき、改めて皆様のお役に立てないかと検討を進めてきたものです。いち早く商品化しお客様にお届けするため「ルームセパレータカーテン」*⁴をベースとした試作品を医療や福祉の現場に持ち込み、使い勝手など現場のニーズを聞き徹底して「カイゼン」を重ねました。洗浄などを考え脱着可能とし、車内の状況を把握しやすいように透明なビニール素材を全面に採用。また、前後席のどちらからでもファスナーにてセパレータを開閉可能とするなど、誰もが使いやすく、お求めやすい純正用品として誕生しました。

これらの取り組みは、人々が幸せになるモノやサービスを提供すること、すなわち「幸せを量産する」取り組み*⁵の一つです。トヨタ自動車は、引き続き世の中に広く「安全・安心」をお届けするため、モノづくりで社会に貢献していきます。

- *1 設定対象は、ハイエースのワゴン「グランドキャビン」「GL」「DX」、ハイエースのコンピューター「GL」「DX」、ハイエースのウェルキャブ（メーカー完成特装車）車いす仕様車、ウェルジョイン、ハイエースのTECS（メーカー特装車）幼児バス、ビジネス送迎車“ファインテックツアラー”
- *2 2013年マイナーチェンジ以降の車両対象に装着可。詳しくは販売店にご相談ください
- *3 完全に飛沫を遮断するものではありません。換気のため、外気設定や窓を開けるなどの対応をお願いします
- *4 トヨタ純正用品。ハイエースのバンに設定
- *5 トヨタフィロソフィー <https://global.toyota/jp/company/vision-and-philosophy/philosophy/>

【メーカー希望小売価格】

（消費税込み、単位：円）

品名	価格*
飛沫感染対策セパレータ	27,500

* 車両装備、装着品により追加費用が必要となる場合がある。価格に、取付費など諸費用は含まれない

以 上

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

トヨタは、革新的で安全かつ高品質なモノづくりやサービスの提供を通じ「幸せを量産する」ことに取り組んでいます。1937年の創業以来80年あまり、「豊田綱領」のもと、お客様、パートナー、従業員、そして地域社会の皆さまの幸せをサポートすることが、企業の成長にも繋がると考え、安全で、環境に優しく、誰もが参画できる住みやすい社会の実現を目指してきました。現在トヨタは、コネクティッド・自動化・電動化などの新しい技術分野にも一層力を入れ、モビリティカンパニーへと生まれ変わろうとしています。この変革の中にお

いて、引き続き創業の精神および国連が定めたSDGsを尊重し、すべての人が自由に移動できるより良いモビリティ社会の実現に向けて努力してまいります。

SDGsへの取り組み：<https://global.toyota/jp/sustainability/sdgs/>

今回の取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標：

